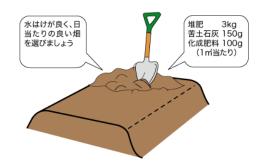
トーホクのネギ栽培方法

1.作物特性 ネギは暑さ、寒さ、乾燥にはよく耐えますが、湿害に弱い作物です。水はけの良い畑を選び、畑の排水対策をしておくことがポイントです。ネギの苗作りには時間がかかる上、白根部分を長く伸ばすためには植え溝を深く掘り、植え込んだ後は定期的な追肥と土寄せ作業が必要で栽培は長期にわたります。

2.タネまき 植えつける畑とは別に育苗床を準備します。





深さ 1cm 程度のまき溝をつけ約 1cm 間隔でタネをまき、発芽までは乾きすぎることの無いように管理します。苗が伸びすぎて倒れるようなら、葉

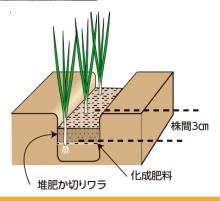
先をハサミなどで剪葉します。 育苗中に肥料が切れないよう、水やりの時に定期的に薄い液体肥料を施します。



3.植えつけ タネまきから 45~50 日で植えつけ適期の 苗となります。深さ 15cm 位の植え溝を掘り、溝に立て掛ける

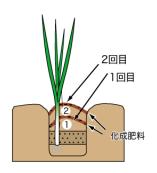


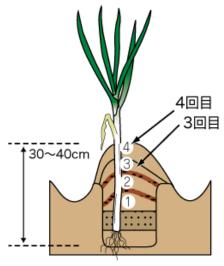
ように並べて株元に土をかけます。株間は3~5cmで、葉の分岐部分より上が土で隠れないようにします。その後植え溝の底に切りワラなどを敷きます。



発芽適温:15~25℃ 生育適温:15~25℃ 土壌酸度:pH6.5~7.0 連作障害;1~2年あける

4.栽培管理 株元にうね間の土を盛る「土寄せ」を行い、白身を伸ばしていきます。3~4週間ごとにうね1mあたり化成肥料25gを追肥し、土寄せします。栽培期間中4回程度行います。





この作業は真夏にはネギの根が傷むので行ってはいけません。また葉の分岐部分より上に土がかからないようにします。

秋まき苗の場合、春にとう立ちしますから、その際はネギ坊主を摘み取ります。その後自然とわき芽が伸びてきます。



5.収穫 ある程度の 大きさになればいつでも 収穫できます。ネギを傷 つけないようにうねの片 側をクワなどで崩し必要 な分だけ掘り上げます。



